



NPO法人Adovo

人 手不足が深刻な日本では今後、外国人財の迎えいれが必要と言われています。日本が選ばれる国となるために、外国人が楽しく、快適に働く社会を働く社会を作らなければなりません。

私たちAdovoは、3つの活動を軸に日本で働く同世代の技能実習生のサポートを行う中高生・大学生の団体です。

一目次一

Adovoとは	... 2
国際交流	... 3
日本語教室	... 4
実際の活動について	... 5
研究・発信活動	... 6
事務局だより	... 7



2023

1
号

特定非営利活動法人 Adovo

〒107-0062

東京都港区南青山2-2-15 WIN531

URL : <https://adovo.or.jp> EMAIL : info@adovo.or.jp



発行日 令和5年4月23日

編集・発行 NPO法人Adovo事務局

印刷 株式会社プリントパック



「交流」「日本語教室」の2つの軸を通して、日本で働く技能実習生のサポート活動を実施しています。

教室や講習の後は歳が近い普通の友だち。そんな関係がもっとたくさん生まれることを目指して活動しています。

NPO法人Adovo代表
松岡 栄吾

Adovoは2020年の設立以来、国籍関係なく同世代の技能実習生のサポートを行ってきました。100名以上のメンバーと一緒にこれまで500人を超える実習生と出会ってきました。「ともに学び合う」精神を大切に相手の立場や思いを想像し、活動を続けています。

技 能実習生への交流・講習会や、世界中の人たちとの交流会を企画運営しています。いろいろなバックグラウンドや文化、言語を持つ人たちと触れ合えるイベントを自分で企画＆運営することができます！

日 本語教室は名前の通り、日本語を教える教室です。オンライン型・出張型の2つを行っています。日本語の教科書を使用しながら日本で働く外国人の方が日本で暮らしやすくなるためのサポートを行っています。

日本での生活を楽しみに

外 国人が日本でトラブルに巻き込まれてしまう原因の一つに日本のこと良く知らないことが挙げられます。技能実習生の出身国と日本の文化や習慣は全然違います。言語はもちろん、ゴミの捨て方や食べるもの交通手段など挙げればキリがありません。日本の法律やマナー、文化、方言などを知ることなく来日し、上手く日本での生活に馴染めないということも少なくありません。

技能実習生の多くは出身国にある派遣会社の訓練センターから来ます。訓練センターで彼らは半年から1年ほど日本語や日本の社会ルールを学ぶ機会があります。しかし教科書に書いてあることだけでは伝えられない最新情報や細かなニュアンスもあります。

そこで私たちが行う講習会では日本在住の同世代メンバーが行うという利点を活かし、私たちだからこそ発信できることを意識して講習会を企画しています。

日本語を勉強したい

技 能実習生は来日前と来日後に合計して1年程度、集中的に日本語を学ぶ機会がありますが、それ以降の学習は各自に委ねられます。同胞の同僚と過ごす機会が多い実習生は日本語を使う機会がなく、実習の期間を終えてしまうことがあります。

一方で在留資格を「技能実習」から「特定技能」に変えてより長く働くためには、高い日本語レベルが必要とされ、実習期間中に日本語を学ぶのは重要なことです。

しかし現在、日本で行われる日本語教室の多くがボランティアによるもので、特定の時間・特定の場所でのみ行われるため、都合が合わず行けない実習生も少なくありません。私たちの教室は受け入れ企業による申し込みを受け、メンバーたちが自分たちの時間を活用し、オンラインで教室、実習生が移動の負担なく日本語学習の機会を得ることができます。

国際交流



オンライン国際交流会の様子



浅草観光企画の様子



ベトナムでのオンライン講習会の様子

チームリーダーより

今年より国際部部長になりました、莊司遙香です。オンライン交流会・講習会を中心に活動してきた国際部ですが、今年からは新たに「オンライン交流会」と「観光」という2つの対面企画が始動しました。イベントの企画だけでなく、そこで友達のように実習生と交流ができるのも国際部の魅力だと思っています。これまで実現できなかった対面での交流を活発化させ、実習生により日本を好きになってもらえるよう各メンバーと協力し取り組んでいきます。

国際講習会

送り出し機関に在籍する、技能実習生として来日する前の学生を対象として国際講習会を行っています。日本に来たばかりの実習生にとって、食事マナーや電車一つをとっても分からながが多く、生活の中で困ってしまう場面が多くあります。そのため、食事・交通ルールやレストランの使い方、方言や流行など送り出し機関では教わらないような、日本での生活や文化を中心に講習をします。その際使うスライドはすべて国際部が作ったオリジナルのものです。また、学生に自国の文化を紹介してもらうなど、双方向のやり取りを意識的に行うようにしています。同世代だからこそできる他愛のない会話も大切に日本に来ることを楽しみにしてもらえるようにと考えています。

オンライン国際交流会

国際部は一か月に一回、オンライン交流会というものを行っています。日本の伝統的な遊びなどを2個遊びます。1月に開催したオンライン交流会では、しりとりと嘘を見破れゲームというものを遊びました。参加された多くの人から好評で私たちも楽しみながら遊んでいます。

基本的に日曜日の19時から20時までの一時間で開催しています。Zoomを使っていて、参加にはインターネット環境が必要です。日本語を使って皆さんと楽しみながら交流することを目的としたイベントです。学生が主催しているイベントですのでまだまだ足りていないところもありますが、今後も頑張っていきますのでぜひ参加してみてください！

日本語教室



出張型日本語教室の様子



出張型日本語教室の様子



オンライン日本語教室の様子

チームリーダーより

日 本語教室部長になりました、宮川優菜です。日本語教室では日本での生活に欠かせない日本語を教えるだけでなく、高校生を中心とした若い世代が先生を行うことで、若者目線でで行う異異文化交流も実現させております。毎週土曜日21時から行われている部署会では、より充実させるために、最近はグループに分かれて現在の問題点などについて意見を出したり、新しい企画の提案などを行うようになりました。日本語教室メンバー一同これからも生徒の方が日本でより快適に楽しく暮らしていくよう、今後も精進していきます！

出張型日本語教室

出 張型日本語教室は現在、東京都内3カ所（受け入れ企業・入国後講習実施機関等）で実施しています。週1回の決められた曜日、実習生たちが仕事を終えた後に担当のメンバー2名が彼らのいる場所に出向き、教室をします。内容は日本語能力試験の勉強だけでなく、会話や発音まで様々。先生との歳が近く、距離も近い環境だからこそ、**自由でお互いが楽しめる教室**を実施することができます。

日本にいる実習生の中には、いつも同胞の同僚と過ごし、寮と会社の往復で、日本に来たのに日本語を忘れてしまう人が多くいます。特定の場所・時間でのみ行われている日本語教室に行けない人も少なくありません。私たちの教室は中学生から大学生のメンバーたちが放課後の時間を活用し、就業時間直後に企業に向かうことで、実習生が移動の負担なく日本語学習の機会を得ることができます。受け入れ企業や入国後講習施設の方からも高い評価を受けているとても楽しい教室です！

オンライン日本語教室

オ オンライン日本語教室はZoomを使ってそれぞれの住んでいるところからリモートで行います。1対1で基本は週に1回お互いに都合の良い日を決めて1時間ほど授業を行います。趣味やゲーム音楽の話で盛り上がることもしばしばあります。年齢が近いからこそ分かりえることもたくさんあるはずです。オンラインのメリットは適宜画像を共有できることです。わからない単語があったときには画像を見せてしっかりと理解してもらいます。

また、私たちの教室の良いところは「おしゃべり」だけではないこと。技能実習から特定技能にビザを変更したり、サービス業など比較的高いレベルの日本語が求められる職につくために必要な資格である日本語能力試験 N4(五段階のうち下から2)や、さらにその上のランクの N3 などが取得できるような授業を行っています。

実際の活動の様子

浅草観光行ってきました！！（3月26日）

①浅草寺、仲見世通り

雷門から仲見世通りを通って浅草寺まで行き参拝しました。浅草寺では「日本語の試験に受かるように」とおみくじを買う人、メンチカツなどの食べ歩きをする人、金魚すくいも体験してもらいました！



③カフェで日本のお菓子

あんみつやぜんざい、抹茶など日本の伝統的なお菓子やお茶を食べながら母国と日本の文化の違いや他国から見た日本について教えていただき参加者同士の日本に住む外国人だからこそわかる苦労を話し合うなど皆で会話を楽しみました！



②水上バス（浅草～日の出桟橋）

水上バスではボックス席に座りAdovoメンバーと交流を行いました。窓の外から見える桜や建物について感想を言い合ったり水上バスの中を探検したりしていてとても楽しそうでした！



初めて浅草に来たという方が多くたくさん写真を撮っていました。最初の方は緊張した様子の参加者の方たちでしたが、時間がたつにつれて私たちとも打ち解け楽しそうに話してくれたことが印象に残っています。参加者からは「このような機会はめったにないのでとても楽しかった。また参加したい！」といってもらえてとても嬉しかったです！

今年度は全8回の交流会を目指しメンバー一同頑張っていきます！

オンライン日本語教室 先生インタビュー！

O先生（高3・山梨在住）

Q1：生徒さんについて教えてください

A: 私の生徒さんは、中国から日本に来た留学生の方です。

Q2：授業の流れはどんな感じですか？

A: 私の生徒さんはとても日本が上手なので最近したことやお互いの国のことなどフリートークのような感じで進めています。初めは少しひこちなかったのですが今では授業外でも連絡を取るほど仲良くなりました！

Q3：どのような時にやりがいを感じますか？

A: 私自身授業をすごい楽しいと思っているのですが生徒さんの方からも授業終わりに楽しかったです！といつてもらえた時はすごく嬉しくやりがいを感じます！

I先生（大3・東京在住）

Q1：生徒さんについて教えてください

A: 僕の生徒さんは日本に来たばかりのベトナム人技能実習生の方です。

Q2：授業の流れはどんな感じですか？

A: まず初めにアイスブレイクと意思伝達力の強化という意味合いでフリートークを行います。次に文法授業を行います。説明が難しいところもあるので事前に予習しわからないところはその場で調べて解説しています。

Q3：どのような時にやりがいを感じますか？

A: 授業の時に理解し納得してもらったときに分かりやすい！と言ってくれた時に感じます！

K先生（高3・愛知在住）

Q1：生徒さんについて教えてください

A: 私の生徒さんはインドネシアから来た実習生の方です。特定技能の資格が取れるように勉強しています！

Q2：授業ではどのような工夫をしていますか？

A: 文法を生徒さんになるべく練習してもらうようにしています。一緒に問題を解いたり、作文したりして文法事項をたくさん練習しています！

Q3：どのような時にやりがいを感じますか？

A: 生徒さんが新しく文法を覚えてくれて、それがきちんと使えるようになってくれることがすごくうれしくてやりがいを感じています！

H先生（高2・東京在住）

Q1：生徒さんについて教えてください

A: 私の生徒さんはインドネシアから来た実習生の方です。19歳の女性の方です。

Q2：授業の流れはどんな感じですか？

A: 授業では、文法と単語を中心に授業スライドを作っています。作ったスライドを基に授業を進めていくというスタイルです。

Q3：どのような時にやりがいを感じますか？

A: 歳が近いのもあり、好きなK-POPなどの話で盛り上がりたりするときが楽しいし、国籍が違う人と楽しくお喋りできるのはとてもやりがいがあります。

研究・発信活動



多文化共生社会の実現のためには、日本で暮らす私たち自身が知識を身に付け、お互いに寄り添いあっていくことが大切です。当団体では団体内部での研究活動、またその発信を通して、より良い多文化共生社会の構築に少しでも貢献できることを願って活動しています。

Freebird関東支部の皆さんとパネルトークイベント



信委員会では「日中学生の相互理解の場を創出」を理念に日中の学生交流活動を実施しているFreebird関東支部の皆さんと、Twitter Space上でパネルトークイベントを実施しました！『日本で働く中国人』をテーマに各団体だからこそその視点で議論し、よりよい外国人労働者受け入れについて考察する素晴らしい機会となりました。

2団体に共通するテーマを話題にし、今回のイベントを開催しました。自分の団体の活動を基に、それぞれが違った角度から日本での中国人労働者について考察を深めることができ、貴重な学びの場となりました。

技能実習生入国後講習施設へ見学に行きました！



式会社ワールディング様が運営する入国後講習施設『アジア人財キャリアデザインセンター』に当団体から3名が見学に行きました。授業や施設の見学の他実習生と昼食をご一緒しました。実習生への日本語教育への理解を深めるだけでなく、彼らが日本に来た経緯を「生の声」として直接聞くことができました。

技能実習生に関してネットで調べる中で、マイナスなニュースが多くドキドキした状態で訪問しました。しかしあ昼と一緒に食べる時楽しく話す実習生を見て、とても嬉しく思いました。私が一緒に話したインドネシアの方々はみんなでお揃いの服を着て、「お箸の持ち方こうだよ」や「その日本語こうだよ」と仲良く教えあっていました。

メンバー2名のベトナム派遣

令和5年3月に、メンバー2名のベトナム派遣を実施しました。



現地での実習候補生との交流

ハノイにある複数の技能実習生派遣会社の訓練センターに宿泊し、これから来日して働く技能実習候補生と交流しました。派遣会社からは、実習生が同世代の日本人と密に関わることによる日本語能力向上について肯定的なフィードバックを受けました。

外国人労働者送り出しに関する調査研究

技能実習生の実家（ナムディン省）、JICAハノイ事務所、複数の派遣会社訓練センターの訪問を通して、ベトナムにおける日本への労働力送り出しについて調査研究を実施しました。

現地での様々な活動を通して、日本についてはわからないようなベトナム人の国民性や、日本に来る前の技能実習生の生活についての理解を深めることができる貴重な機会となりました。今回の滞在で学んだことを、今後の団体での活動に活かしていくべきだと思います。今年度はメンバー4人のベトナム派遣を計画しています！

事務局だより



こんにちは。新しく事務局長に就任いたしました、的場 舞です。事務局では主に新メンバー募集や会計管理など、団体を裏から支える仕事をしています。まだまだ人数も少ないですが、Adovoの縁の下の力持ちとして、頑張っていきたいと思っています！

クラウドファンディング 開始しました！

Adovoでは3月14日より、クラウドファンディングを実施しております。目標金額は30万円来年度の活動費用として、大切に使わせていただきます。用途の詳細は、以下のQRコードよりご覧ください。

心ばかりではございますが、リターンも用意しております。
皆様の温かいご支援をお待ちしております！



[https://rescuedx.jp/
project/52193](https://rescuedx.jp/project/52193)

ご支援のお願い

当団体は収益事業を実施しておらず、随時、皆さまからのご支援を受け付けております。いただいたお金は当団体の日本語教室や交流活動のために大切に使わせていただきます。

○お支払い方法

クレジットカード、銀行振込の2つの方法でご支援いただけます。右のQRコードを読み取るか、「Syncable Adovo」と検索。



Facebookページを開設！

Adovoでは、Facebookページを開設しました！活動報告やイベント情報など、リアルタイムで掲載しております。ぜひ一度覗きにいらしてください！

新規参加者説明会を開催！

2023年3月26日、対面・オンラインで新規参加者説明会を実施しました。多くの参加希望者が集まりました。当団体では随時メンバーを募集しています！



新規参加者説明会の様子

サポーター会員募集中

年会費会員として当団体をサポートしていただく「サポーター会員」を募集しております。会員の皆様には年3回の活動報告会・相談会へのご招待の他、毎月の活動報告等をお送りしております。

○入会方法

右のQRコードを読み取ると年会費プランが選べます！



・編集後記・

本誌を作るにあたっては、団体メンバー含めたくさんの方にご協力していただき、無事完成することができました。

会報を作っていく中で、自分のチームだけでも様々なメンバーの思いや工夫を知ることができ、自分自身のこれからも団体における活動の幅を広げていたらと思います。

作成にあたり協力してくださった方々、ここまでこの会報を読んでくださった方々本当にありがとうございました。

会報製作委員会

小野 瑞季

